



# NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 09 「減災キャラバン on 上町台地」の道程から」関連イベント

1/26

減災Cafe in 上町台地

## 「減災キャラバンの一歩から考える、生活文化としての減災」を開催!



「減災キャラバン on 上町台地」が残した小さな一歩をふり返りながら、生活文化としての「減災」の必要性を考えていきたい。

弘本由香里  
(U-CoRoプロジェクト・ワーキング、大阪ガスCEL)

### 【第1部】キャラバン・レビュー

■ 2009年2月、上町台地の4会場を巡回して行われた「減災キャラバン on 上町台地」の概要を紹介し、関係者のコメントをいただきました。



「いのちを守る智慧」の巡回展示とリレートークが上町台地でどう受け止められ、この地に何を伝えることができたのか。1年後の今、もう一度見つけ直したい。

関口威人さん  
(特活)レスキューストックヤード、ジャーナリスト)



【レポート】

阪神・淡路大震災から15年、その後も全国各地で数々の災害が発生しています。15年の歳月が流れていくなかで、災害が私たちに教えてくれたもの、それが「災害文化」と「生活防災」や「減災コミュニケーション」と「災害ボランティア文化」といった考え方や生き方、生活文化としての減災の必要性です。

こうした思いと実践を育みながら全国の被災地をめぐる専門家のみなさんと、上町台地の面々の出会いから生まれた取り組みの一つが「減災キャラバン on 上町台地」。この上町台地に刻まれた小さな一歩をふり返り、生活文化としての減災へ、智慧を交わし語り合う、減災Cafeを1月26日に開催しました。

この試みは、わかりやすく楽しく入れる減災活動を目ざしたもので、上町台地が動く“その日”に向け、何かしらの“覚悟”が必要では。

早川厚志さん  
(まちづくり工房、U-CoRoプロジェクト・ワーキング)



4つの会場それぞれに、今ある課題の中で「減災」というテーマが受け入れられていた。上町台地には、被災から立ち直っていく際の「回復力」が詰まっている。



菅磨志保さん  
(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター-特任講師)

### 「減災キャラバンの一歩から考える、生活文化としての減災」

ゲスト：矢守克也氏(京都大学防災研究所教授)  
渥美公秀氏(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)  
栗田暢之氏(特活)レスキューストックヤード代表理事)  
「減災キャラバン on 上町台地」に参加した方々

時間：1月26日(火) 19:00~21:00  
会場：大阪ガス実験集合住宅NEXT21内2階ホール(天王寺区清水谷町6-16)  
主催：大阪ガスエネルギー・文化研究所(CEL)  
共催：(特活)レスキューストックヤード、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター





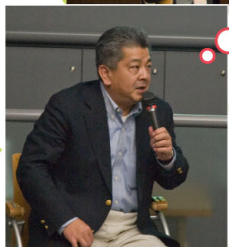
## 【第2部】キーワード・トーク

■生活文化としての減災が、今なぜ必要とされているのか。「災害文化と生活防災」・「減災コミュニケーションと災害ボランティア文化」をキーワードに3人のゲストとともに考えました。



矢守克也さん  
(京都大学防災研究所教授)

瀧美公秀さん  
(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)



栗田暢之さん  
(特活)レスキューストックヤード代表理事)



地道な生活防災以上に、大きな災害に対応できるものはない。一人ひとりが自分で何とかなる人、そして人を助ける人になる、そういうコミュニティを生み出すことが何より重要。

## 【トーク&セッション】



■続いて、「減災キャラバン on 上町台地」の一步を経て、寄せられた言葉を入りに、生活文化としての減災への智恵を語り合いました。1年前にリレートークに登場された白石さんと五百井さんからも発言をいただきました。



昔は子どもがたくさんいた長屋のまちは、今はお年寄りばかり。新旧の住人をつないでいく必要がある。

白石喜啓さん  
(有)ライフ・ステージ代表取締役)

「安心・安全」だけでなく、「信頼」が必要。ときには、ただそこにいるだけでも、無言のメッセージになる。



五百井正浩さん  
(玉龍寺住職)

明日へつなげるために、災害ボランティア文化を見つめ直す必要がある。同時に、地元に戻していく方向性を持つべき。そこから減災キャラバンの発想が生まれた。

ボランティアはもう当たり前のこと。これが常に新しい選択肢を社会にもたらす活動として定着していけば、社会そのものを良い方向に変えていく力になっていく。

全国各地で傳承されている防災・減災の「智恵」を集めた「いのちをまもる智恵」その冊子を通じて「智恵」の伝え方・伝わり方に関する調査研究をもとに、その結果報告と読み手・作り手によるディスカッションが開催されました。

## 大阪大学CSCD 減災カフェ 「いのちをまもる智恵」の伝え方・伝わり方

語り手：栗田暢之氏(特活)レスキューストックヤード代表理事)  
瀧美公秀氏(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)  
花村周寛氏(大阪大学CSCD特任教員)  
関川 華氏(京都大学大学院工学研究科博士課程) ほか  
「いのちをまもる智恵」読者のみなさん

日時：2月19日(金) 19:00～21:00 / 会場：サロンdeありす(中央区谷町6)  
主催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)  
共催：からぼり倶楽部/ロジモク研究会、減災キャラバン on 上町台地実行委員会  
CEL/UL-CoRo プロジェクト・ワーキング、(特活)レスキューストックヤード

2/19

いのちをまもる智恵  
いのちをまもる智恵

防災・減災の智恵を集めた冊子! その内容は、「減災キャラバン on 上町台地」で巡回展示されました。

